

日墨グローバルパートナーシップ研修計画

研修レポート 2017年5月分

井山明日香

研修期間も残り2ヶ月となり、帰国日がだんだんと近づいてきました。5月末にはUNAM(メキシコ国立自治大学)の学期も終了し、同様にわたしが聴講生として参加していた音楽学部の吹奏楽団の授業も終わりました。最後のコンサートは、メキシコシティで行われていたFICAという国際文化フェスティバルの一環としてギリシャにちなんだ音楽を演奏しました。



昨年の11月ごろからこの楽団に所属させていただいて、たくさんの演奏会に参加できたことはもちろん音楽を通じてメキシコ人の友人に様々なことを教えてもらえたことはとても有意義な時間になりました。中学高校と吹奏楽部に所属していましたが、このUNAMの吹奏楽団の最後のコンサートでは経験したことないほど大きなホールで演奏できてとても感動しました。

また、別日にはグアダハラという街にある大学の音楽学部生とUNAMの音楽学部生で特別に組まれた吹奏楽団にも参加させていただき、メキシコシティにあるチャプルテペック城というところで演奏しました。

わたしは音楽という媒体を通じてメキシコ人と交流してきましたが、剣道などといった日本文化や経済学などの専攻分野を通じてメキシコの文化を理解している研修生がたくさんいます。今後、日墨研修へ参加される方は何かしらの媒体を通じてメキシコ人と交流を図ると良いと思います。

ある週末にはソチミルコというメキシコシティの南にある街へ行ってきました。ここはスペイン人の侵略以前から栄えていた街で、現在でも先住民の方々が船を使ったその当時の生活を続けている地域です。現在ではその船を観光化していて、週末は多くのメキシコ人が訪れる地となっています。



この船はトラヒネラという名前で観光用に可愛く装飾がされています。ビールやテキーラを持ち込んで優雅に船旅を楽しみます。

CEPE(現在通っている語学学校)もあと1ヶ月で終わりとなります。Intermedio2というレベルを勉強していますが、とても難しくなかなか悪戦苦闘しています。残り時間でしっかり勉強していこうと思います。